

会 議 録

会 議 名	第1回東浦町景観まちづくり委員会	
開 催 日 時	平成28年7月11日（月） 午前9時から正午まで	
開 催 場 所	東浦町役場 2階 第1会議室	
出 席 者	委 員	海道清信氏(委員長)、久米弘氏(副委員長) 出村嘉史氏、梶川幸夫氏、成田盛雄氏 竹田正巳氏、万木和広氏、青山佳子氏、
	事務局	神谷町長、服部建設部次長 久米都市整備課長、岡本課長補佐、榊原係長、 工藤主事、市川主事 ㈱国際開発コンサルタンツ 森下氏
議 題 (公開又は非公開の別)	(1) 委員長及び副委員長の選任について（公開） (2) 先行的に景観まちづくりを行う重点区域候補地区 について（公開） (3) 今後の事業予定について（公開） (4) 景観条例について（公開）	
傍聴者の数	0名	
審 議 内 容 (概 要)	議題の検討内容は、別紙のとおり	
備 考		

検討内容（概要）

1 町長挨拶

昨年度までの東浦町景観計画検討委員会での討議を踏まえ、景観計画が完成した。他の市町村のまね事ではなく、委員一人一人の魂がこもった計画になったと思う。そして、東浦町の景観まちづくりに詳しい委員の方々に、引き続き東浦町景観まちづくり委員会委員をお任せしたい。

2 議題

(1) 委員長及び副委員長の選任について

委員長の選出が互選により行われ、海道委員が委員長に就任した。

また、海道委員長の指名により、久米弘委員が副委員長に就任した。

(2) 先行的に景観まちづくりを行う重点区域候補地区について

主な意見は以下のとおり

ア 地区の特徴はそれぞれあるため、どのようにアプローチしていくのが重要だと思う。

イ 取り組みやすさを考慮すれば、明徳寺川周辺の地区の景観まちづくりを先行的に行った方がいいと思う。特に公共事業として取り組みやすいため、明徳寺川周辺の地区から行い、その他の地区についても少しずつ景観まちづくりの取り組みを始めた方がいいと思う。

ウ 明徳寺川周辺の地区は公共投資の比重が大きい為、行政がやってくれると印象づけてしまう危険性があるため、住民の方々に意識を向けてもらえるようにした方がいいと思う。

エ 地元の方々と一緒に考える場を設け、理解をしてもらわないと景観まちづくりの大切さは伝わらないと思う。

オ 半田市の場合、まち並みに合わせた改築だと 90 万円、新築だと 180 万円の補助金が支給され、まち並みに合わせたまちづくりを呼びかけている。

カ 半田市のように補助金を出せるかという点で、東浦の場合、住民のコンセンサスを広く図れるかという点で、現時点では難しい段階だと思う。個人のためにそこまでするのが問われかねないため、東浦の現況を確認し、アプローチの方法を考えていくことが大事だと思う。

キ 重点区域の指定に向けた検討を今年度から行うとすると、明徳寺川周辺の地区が妥当だと思う。ただ、他の地区についても取組をスタートさせるべきだと思う。

ク 座談会などの呼びかけをするなど、地域住民の理解度を上げていくことが重要だと思う。

ケ 表彰制度等の充実も大切だと思う。

コ 森岡のぶどう畑についても、平成 25 年度に関係者との話し合いの場を設けて以来中断し

ているが、様々な取組を考えていくようにしたいと思う。

(3) 今後の事業予定について

主な意見は以下のとおり

ア 年次予定の平成 29 年度において交流会や勉強会を行う予定となっているが、一部前倒しして、今年度できるところから勉強会を行うことも考えてもいいと思う。

イ 議論の場には事業者も入れるべきなのではないか。

(4) 景観条例について

主な意見は以下のとおり

ア 窓口でトラブルのないように、心がけてほしいと思う。

イ 太陽光モジュールが工作物として記載されているように見受けられるが、太陽光モジュールは工作物ではないので記載の仕方を検討する必要がある。

正午閉会